

ボランティアネットワーク あさきた

平成24年2月発行
— 107号 —

発行・編集

社会福祉法人 広島市安佐北区社会福祉協議会・安佐北区ボランティアセンター

広島市安佐北区可部三丁目19-22 安佐北区総合福祉センター4階

TEL 814-0811 FAX 814-1895

E-mail kita@shakyohiroshima-city.or.jp



ようこそ！！

安佐北区ボランティアセンターへ

出入り自由のホッとスペースです♪

お気軽に
お立ち寄りください！



ご自由にどうぞ (^-^)



ゆったり、まったりしませんか？
誰もが気楽に立ち寄れる
ホッとできる・・・そんなあたたかい空間づくりを
していきたいと思っています。
何かしたいんだけど・・・
「何か」が見つからない方、
ボランティアグループで活動中の方、
ボランティアサロンでおしゃべりしませんか？

視覚に障害のある方をはじめ、
どなたでもパソコンとインターネットが
利用できます。

情報資料室

点字印刷室

録音作業室

ボランティアコーディネーター
がボランティア活動の応援を
しています。
<相談受付>
月～金 9:15～16:00

朗読録音室

入口

《ボランティア活動に関するお問合せは》

安佐北区社会福祉協議会・安佐北区ボランティアセンター

ボランティアコーディネーター 松島

TEL 814-0811 FAX 814-1895 E-mail kita@shakyohiroshima-city.or.jp

～ つなげようここにこのわ！ ～



くちたにここにくらぶ

毎月第1土曜日10時から12時、口田ふれあいセンターで障害のある子どもとその家族が余暇活動を行っています。

『友達が欲しい、楽しく過ごしたい、豊かに育ちたい。私達の事を地域の人に知ってもらいたい、地域とつながりたい。理解者を増やしたい』との思いから、口田地区社会福祉協議会の支援を受け、平成21年7月に発足しました。9人の子どもと保護者が、子どものペースに合わせながら工作やクッキング、年に数回遠足やピクニックを行っています。

ゆっくりの活動を好む子どもと、動きの早い活動を好む子どもとで活動の内容が違うので企画を考えるのに一苦労です。

障害の違うお友達が一緒に余暇活動をすることで、相手に

対する思いやりなどお互いに成長できることが期待されます。

活動は子どもと保護者で行っていますが、ボランティアさんのお手伝いがあればできる活動も増え、より充実した内容ができると思います。

「ここにくらぶ」では、障害に理解のある方でお手伝いいただける方を求めています。活動に関心のある方は、安佐北区ボランティアセンターに問合せください。

<安佐北区ボランティアセンター>

TEL 814-0811

担当：松島

取材当日はフレンチトーストづくり。子ども達の目はキラキラしていました☆☆



祝

「手話サークル北」発足 30 周年



国際障害者年（1981年）に「手話サークル北」が発足して以来昨年で30周年を迎えられました。手話サークル北とそれに関わってきた方、そして区内在住の聴覚に障害のある方々が集い、お祝いの会が行われました。

お祝いの会では、メンバーさんによる手話での詩・絵本朗読、手話歌、手話劇、ゲームが披露され、昼食をはさむ交流会では昔話に花が咲き、ボランティアのみなさんは今後の活動に意欲を新たにされておられました。

23年前から手話の指導に関わっておられる聴覚に障害のある方は、発足30年を迎えるにあたり、「実際に教えるのは苦手で、うまく教えられるか不安でした。何度かつまずきながらも、手話サークル北の皆さんに励まされてなんとかここまで来ました」とご苦労を振り返っておられました。

これからも地域での聴覚障害理解に対する啓発活動や、聴覚に障害がある方との交流など、ますますの活躍が期待されます。

【定例会】 毎週水曜日

10：00～12：00

【会場】 安佐北区総合福祉センター



お疲れさまでした！

安佐北区ボランティアセンター登録グループ「視覚障害者ボランティアあい・あい」が今年の3月をもって解散されることになりました。

「視覚障害者ボランティアあい・あい」は、視覚に障害のある方への外出支援にとどまらず、生活の中での困りごとや小学校での福祉教育（アイマスク体験）など多岐にわたりさまざまな場面でご協力いただきました。



<石津英治さん>

Q グループ発足の経緯を教えてください。

A 平成3年、安佐北区社協職員の呼びかけで28人が集まりグループを結成。グループ名を目のアイと心の愛で「あい・あい」としました。

Q どのような活動をしてこられましたか？

A 当時はガイドヘルパー制度がなく、外出の要望があればお手伝いをしていました。また、目の不自由な方との交流を深めるために、福祉バスを借りているような所に行き、当事者の方も喜ばれていました。

Q ボランティア活動に関わって楽しかったことは何ですか？

A 交流会で視覚に障害のある方と福祉バスを借りて釣堀やたけのこ堀りに出かけたことです。

Q 逆にしんどかったことはありますか？

A 交流会の計画を立てるのに苦労しました。

Q 今後の活動について教えてください。

A 昔に比べて制度やサービスがかなり充実し、目の不自由な人も積極的に外出し、視覚障害に対する理解も増えました。今後はできることがあればぼちぼちボランティアをやっていきます。何かあったら声をかけてください。

ボランティアセンターも、何かあれば石津さんに相談させていただきました。石津さんお疲れ様でした。これからもよろしくお願いいたします。

～お弁当と笑顔をお届けしています～

《いきいきグループ》

ボランティア募集

平成4年に介護ボランティアグループとして発足し、当初は毎週土曜日に夕食の準備や話し相手でお困りの高齢者宅への訪問活動をしていました。

その後、介護保険制度が始まるとともに活動内容も家事支援活動から配食活動に変わり、現在、男性3名女性12名(平均年齢67.5歳)が活動しています。

活動内容は、緑ヶ丘静養園調理室で作られた食材をお弁当に詰め、高齢者25軒のお宅に「元気ですか？」との声掛けとともにお届けしています。

いきいきグループでは現在、配食をお手伝いいただける運転のできる方を募集しています。

- 【活動日】 毎月第2・4木曜日
- 【活動時間】 10時30分 緑ヶ丘静養園出発
約1時間
- 【定例会】 毎月第2木曜日
13:00～15:00
- 【問合せ先】 安佐北区社会福祉協議会
TEL 814-0811

安佐北ボランティアフェスタ

♪おかげさまで10周年♪

誰もが参加しやすいフェスタをモットーに安佐北ボランティアフェスタが10周年を迎えました

ボランティアフェスタは年に1回、ボランティアさん同士の顔の見える関係がもてる場となっています。これからもできるだけたくさんのボランティアさんにご参加いただき、よりよいものにしていきたいと思ひます。

ボランティアフェスタにご寄付、ご協力いただきましたみなさま、どうもありがとうございました。



<オープニングセレモニーの様子>

ご紹介しませう

～安佐北区より被災地へ～ 【すずらんの会】



安佐北区総合福祉センターを拠点に毛糸のモチーフを組み合わせたひざ掛けを作り、高齢者施設や障害のある方へ贈る活動をしている「すずらんの会」が、ひざ掛けや手編みのマフラー、帽子を被災地（宮城県多賀城市）に送りました。

送り先の方からのお手紙をご紹介します。



《すずらんの会》

94歳のボランティアさんを始め 15名の会員が和気あいあいと活動しています。

【定例会】 毎月第2・4木曜日 9:00～12:00

【会場】 安佐北区総合福祉センター

【問合せ先】 安佐北区社会福祉協議会

TEL 814-0811 担当/松島

<宮城県多賀城市在住 吉田瑞生さんからの便り>

東北の地は日に日に寒くなり雪の降り積もる頃となりました。ご支援の品々を賜りありがとうございました。暖かいお心を頂き目頭が熱くなります。

多賀城市は仙台市に隣接する街で仙台湾からの津波に襲われ市域の3分の1が浸水し、188名が亡くなられました。

一帯がほぼ浸水、柵の上に立ち、首まで水に浸かり寒い中一晚をすごし、救助された若い女性がおられました。（若い力の体力で耐え抜くことができた様子でした。）

津波に対する教訓は「高台に逃げる」ことです。車での移動は危険です。（信号は止まり、車は渋滞、津波によりドアが開きません。）

自然の脅威と自然の恵み。復興の基礎は自然との共生でしょう。立春大吉を信じて。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

年間保険料	基本タイプ	天災タイプ
	A 280円	A 490円
	B 420円	B 720円



特長は

- ◆ 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- ◆ 熱中症（日射病、熱射病）による障害も補償
- ◆ ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償！

【申込み・問い合わせ先】

安佐北区社会福祉協議会

（安佐北区総合福祉センター4階）

TEL 814-0811

月曜～金曜日 8:30～17:15

※複数のボランティアグループに所属している方は、重複加入のないようご注意ください。

☆編集後記☆

今年は例年になく（毎年言っていますが…）寒い日が続いています。寒い中、元気で明るく活動されているボランティアさんに励まされています。

今年もボランティアさんと一緒にたくさん楽しい事をしていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

ボランティアコーディネーター
松島